

昭和57年版

鳥取県の環境白書

鳥 取 県

目 次

第1部 鳥取県の環境の概要	1
第1章 自然環境の概要	1
第2章 公害の概要	2
第2部 自然の保護と利用	4
第1章 自然環境の現状と対策	4
第1節 自然環境の現状	4
1 植 物	4
2 動 物	4
3 地形・地質	4
4 景 観	5
第2節 第2回自然環境保全基礎調査結果	6
第3節 保全すべき地域	22
第4節 保全対策	31
1 県自然環境保全地域の指定	31
2 自然保護思想の普及	31
第5節 温泉の現状	33
第2章 自然公園	35
第1節 自然公園の保護	35
1 自然公園の概況	35
2 自然公園の管理	38
3 自然公園の環境美化	38
4 自然保護用地の買上げ	39
第2節 自然公園の利用	40
1 自然公園の施設整備	40
2 自然公園の利用者	41
第3章 鳥獣保護	42
第1節 鳥獣の保護	42
1 鳥獣保護の概況	42
2 鳥獣保護の対策	42
第3部 公害の現状と対策	45
第1章 大 気 汚 染	45
第1節 大気汚染の現況	45
1 概 要	45
2 汚染物質別測定結果	47
(1) 二酸化硫黄	47

(2) 一酸化炭素	51
(3) 浮遊粒子状物質	54
(4) 窒素酸化物	56
(5) 光化学オキシダント	57
(6) 降下ばいじん	59
3 各汚染物質の経年変化	60
第2節 大気汚染の防止対策	61
1 法・条例による規制	61
(1) 法による規制	61
(2) 自動車排出ガス規制	63
(3) 条例による規制	63
2 監視状況と行政指導	64
(1) 塵道中排出ガス測定立入検査	64
(2) 重油抜き取り検査	64
(3) 大気関係監視指導状況	64
第2章 水質汚濁	65
第1節 水質汚濁の状況	65
1 健康項目	65
2 生活環境項目	65
(1) 概要	65
(2) 水域別	69
第2節 水質汚濁防止対策	86
1 環境基準のあてはめ	86
2 環境基準達成のための施策	87
3 水質汚濁規制	88
第3章 騒音	94
第1節 騒音の現況	94
1 概要	94
2 各種騒音測定調査結果	94
(1) 自動車騒音調査	94
(2) 環境騒音実態調査	94
第2節 騒音の防止対策	98
1 法・条例による規制	98
(1) 騒音に係る環境基準	98
(2) 騒音規制法	99
(3) 鳥取県公害防止条例	102
(4) 航空機騒音に係る環境基準	103
2 特定施設等の届出状況	106

第4章 振 動	107
第1節 振動の現況	107
1 概 要	107
2 各種振動測定調査結果	108
(1) 道路交通振動調査	108
(2) 環境振動実態調査	108
第2節 振動の防止対策	111
1 法による規制	111
2 特定施設等の届出状況	114
第5章 悪 臭	115
第1節 悪臭の現況	115
第2節 悪臭防止対策	117
1 法令による規制	117
2 悪臭防止対策	120
第6章 地 盤 沈 下	121
第7章 そのほかの環境汚染物質	125
第1節 休廃止鉱山の重金属	125
第2節 水銀等重金属類の汚染状況	125
1 土壌、農産物調査	126
2 魚介類調査	126
第3節 PCBの汚染状況	127
第8章 廃 棄 物	128
第1節 一般廃棄物の現況	128
1 し尿処理	128
2 ごみ処理	130
3 最終処分場	134
4 し尿浄化槽	135
第2節 産業廃棄物の現況	137
第9章 中小企業者に対する貸付け	144
第10章 公害紛争処理・公害苦情等	146
第1節 公害紛争処理制度の現況	146
第2節 公害苦情受理処理状況	146
第3節 企業の公害防止管理者等の設置	150
第4部 鳥取県を美しくする運動	151
資料1 自然公園等施設の整備状況	153
資料2 昭和55年度常時監視測定結果の他県との比較	162
資料3 ばい塵発生施設に係る窒素酸化物規制の経緯	165
資料4 ばい塵発生施設に対する窒素酸化物排出基準一覧	167

資料 5	自動車排出ガス規制経緯の概要	173
資料 6	公害関係事犯検挙状況	175
資料 7	昭和56年度環境保全関係予算等の概要	177
資料 8	市町村の公害行政機構	179
資料 9	市町村の環境関係条例制定状況	180
資料 10	市町村の公害防止協定締結状況	181
資料 11	県内石油製品年度別使用量の推移	184
資料 12	県内自動車保有台数の推移	184
資料 13	環境基準類型指定概要図	185
資料 14	水質の経年変化(昭和51～56年度)	186
資料 15	公害関係用語の解説	192